



代田・九条の会News

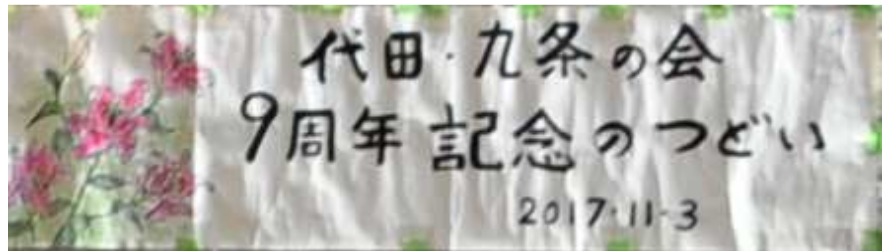
第 108 号

2017/11/14

編集
代田・九条の会
小澤 清子
伊東 宏

itohiroshi1007@gmail.com

ホームページ : <http://www.daita-9jo.sakuraweb.com/>



平和憲法の公布から 71 年目の「文化の日」の 11 月 3 日、代田・九条の会 9 周年記念のつどいが東京都民教会礼拝堂で開催され、66 人が参加しました。

最初に事務局の小澤清子さんが会のこの 1 年間の活動報告と今後の方針の提起を行いました。当面の課題として、総選挙後の改憲の動きの新たな局面に際し、「9 条改憲 NO!」の声を草の根からと全国市民アクションによる 3 千万人署名運動が提起されているので、その運動への積極的な協力を参加者に要請した。

俳優の栗原小巻さんが、相変わらずの容姿で、大きな拍手を浴びて登壇した。九条の会の運動に大いに賛意を表され平和の問題について考えたいとあいさつされた。日中戦争時の昭和初期に、中国に渡って反戦運動をされた信念の人、エスペラント運動家の長谷川テルさんが、重慶での戦火の中で日本の同胞にせつせつと平和を訴えられた長文の手紙の朗読をされ、感動的であった。

都民教会の岡崎岳牧師が挨拶をされた。日本のキリスト教団は第二次大戦時に難しい立場に立たされ、「キリストと天皇はどちらが偉いか」など特高に踏み絵を踏まされ、弾圧され検挙された人も多く、戦争に協力させられた苦難の歴史を経て今日に至っているとお話があった。

休憩の後、いよいよ石田勇治教授による講演「なぜ民主的憲法下のドイツにヒトラー独裁体制が生まれたのか?——今ワイマール民主制崩壊の要因を考える」が、2 時間近くにわたって行われた。この問題は古くて新しい問題で、最新刊の長谷部恭男教授との共著「ナチスの「テロ」と緊急事態条項」(集英社新書)はベストセラーにもなっている。日本の安倍による改憲問題を考える上で唆に富む重要な問題であるので、特にお願いしたところ快諾され、実現したものである。

先生は、要領よくまとめられたレジュメに従い画像も使いながら、丁寧に話を進められた。第一次世界大戦に敗れてドイツ帝国が崩壊した後のドイツの政情、世界で最も民主的と言われたワイマール憲法の問題点、1933 年 1 月 30 日にヒトラーが首相に就任したいきさつ、その後わずか半年ほどで独裁体制をとるに至った経緯などを分かりやすく説明された。ポイントは、ワイマール憲法に緊急事態条項(第 48 条:大統領に権力を集中させられる条項)があり、それを多用しながら授權法(政府に全権を委任する法律)を制定したことにより独裁体制を確立したものである。

先生は、要領よくまとめられたレジュメに従い画像も使いながら、丁寧に話を進められた。

第一次世界大戦に敗れてドイツ帝国が崩壊した後のドイツの政情、世界で最も民主的と言われたワイマール憲法の問題点、1933 年 1 月 30 日にヒトラーが首相に就任したいきさつ、その後わずか半年ほどで独裁体制をとるに至った経緯などを分かりやすく説明された。ポイントは、ワイマール憲法に緊急事態条項(第 48 条:大統領に権力を集中させられる条項)があり、それを多用しながら授權法(政府に全権を委任する法律)を制定したことにより独裁体制を確立したものである。

現在、自民党の改憲議論でも、憲法 9 条の改悪と合わせて緊急事態条項が検討されており、最も危険な動きと言わざるを得ない、と結ばれた。

私どもは、このことに十分留意していかなければならないと肝に銘じた次第でした。

最後に代表・野間口が閉会の辞を述べた。その中で、区の掲示板に張った 9 周年のつどいの会のポスターがあちこちではがされるという残念な事態が生じたことを報告した。(代田 5 丁目・野間口 至)



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第 9 条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

アンケートから（ご協力ありがとうございました）

1 栗原 小巻さんの朗読とトークについて

- ・愛を交わすべき中国と日本について、長谷川テルの朗読を聴いて暖かい生きた言葉を戴き有難うございました。栗原さま、世阿弥の風姿花伝の良き花になられたと感じました。日本基督教団の鈴木さんの紹介は一粒のコショウでした。
- ・緊迫感のある朗読、良かったです。
- ・長谷川テルさんの詩文に心打たれた。
- ・本当にすてきでした。凜としたたずまい、心にしみるお声。なによりお人柄に感激しました。友人も皆感動していました。
- ・握手して頂きました。朗読はさすがと思いました。
- ・キリッと引きしまった朗読に感激しました。長谷川テルさんの本を読んでみたいと思います。忙しい人がよく時間をとって頂けたものですネ。
- ・久しぶりに拝見しましたが、オーラが違いますね。
- ・長谷川テルさんの手紙に感動しました。心にしみました。
- ・「平和憲法を守っていきましょう！」という栗原さんの気持ちのこもったお話とすばらしい朗読に感動致しました。
- ・長谷川テルさんのことは改めて深い思いを伝えて頂いたと思いました。
- ・りんとした美しいお姿での朗読はとてもすばらしかったです。
- ・長谷川テルさんの文をリンとして、聞き取りやすく、素晴らしい朗読でした。教会の戦争協力の歴史も学んでいらして驚きました。
- ・心にひびきました。鈴木正久先生の“キリスト者の戦争責任”私にとって最も誇りとすることです。私も信者ですので今の“九条”危うしにはだまっていられません。
- ・短い時間でしたが張りのある声で1937年の中国の生々しい時代の話に引き込まれました。



栗原 小巻さん

2 石田 勇治さんの講演について

- ・非常に参考になりました。安倍首相（日本会議）の緊急事態条項はとても危険だと強く認識しました。
- ・日本の今の状況に酷似しているので恐ろしく感じています。緊急事態条項の意味がよくわかってとてもよかったです。
- ・ヒトラーの怖さがよく分かりました。国民一人一人が、今の国難をどうすれば切り抜けて行くかがこれからの勝負になりそうですネ。
- ・ヒトラー政権の時代の流れが、今の政治の流れと似ていることが多く、恐ろしくなってきました。選挙の一票では考えることの難しさを感じ今後どうやっていいかわからなくなります。
- ・第一次大戦で負けたドイツの主要な工場地帯を外国に取られ、インフレ等で日々の生活の苦しさの中にヒーロー？が現れた時代のことがわかってきました。現代と通じるものがあるので安倍首相の言動に注意しようと思う。
- ・先生の熱意に感激。素晴らしい学者に会えて感激！長い時間ありがとうございました。
- ・今の政治とヒトラーの独裁がどのような関係があるのかと最初、思いましたが、戦争へ進む道を確立する事がどのような事かをよく説明され、大変役に立ちました。
- ・「緊急事態条項」がヒトラーの独裁を生み出したものになったことが（全部ではないが）分かりました。日本もこの道を歩みはじめています？不安です。
- ・大変興味深い、知らなかった、誤解していた事が明らかになったお話でした。
- ・ナチ・ドイツについての先入観を打ち砕かれました。私たちの今の状況に近いと怖くなりました。
- ・詳細な講演でヒトラーの戦略がよくわかりました。
- ・大変興味深いテーマをわかりやすく解説していただきました。
- ・授権法について理解しやすいご説明で全体像が良くわかりました。
- ・大変参考になりました。



講演をする石田 勇治さん

アンケートから(続き)

3 今日のことい全体についてのご感想、ご意見について

- ・大変なごやかな中に皆さんの前向きな意志が感じられる会でした。
- ・いい企画でした。心から秋晴れの文化の日になりました。
- ・知らないという事が大きなまちがった流れになるという事がわかり、恐ろしい事と思いました。
- ・主催者の方をはじめ参加者の熱意に感動しました。まだまだ日本は大丈夫ですネ。果たして若者がついて来てくれるかですネ。
- ・本当に有意義な会だったと思います。石田先生、栗原さんの企画をして下さいました方々に感謝します。
- ・初参加、こういった集まりがあるのを初めて知りました。
- ・内容が深く広く・中々全部把握出来ませんでした。しかし日本が危ない道に進みはじめていることはドイツの歴史から改めて分かりました。
- ・朗読、講演、牧師さんのお話、どれもが、今の大事な時にピッタリでした。
- ・とてもよい集まりでした。しかし若い人が全くいないことが気になりました。



挨拶をする岡崎 岳・牧師

4. 代田九条の会のとりにくみについてのご希望やご提案

- ・今回私は代田区民センターの掲示板で代田にも九条の会が存在することを初めて知った。残念！賛同する人はたくさんいると思う。もっと広報活動に力を入れてほしい。
- ・足が痛くなることがしばしばで中々全部の活動に参加出来ませんでした。が心はいつも応援しています。
- ・一番将来、影響を受ける若い人を参加させることを積極的に考えないと大変なことになりそうです。若い人は自民党の政策に疑問を持つ人が少なく、自分たちの時代になったときそんなはずではなかったと気がついた時は手遅れです。
- ・戦争で得るものはありません。

＊ ＊ アンケート回答者は、50代1名、60代6名、70代8名の方々でした。

栗原小巻さんの長谷川テルの朗読、すてきでした。妥協を許さない、頑ななまでにひたむきな栗原さんの姿勢には胸を打ちました。芝居の巡演やロシア、中国などとの文化交流で多忙なのに、よく来れたと思います。ただ、小巻さんは本来なら最後までいたかったでしょうが、あれから九州へ行く用があって中座したのです。一言会場のみなさんに事情を言うべきだったと思います。小巻さん側の落ち度ですが、小巻さんに代って主催者が説明すべきだったと思います。説明なく中座というのは失礼だと思いました。

石田勇治先生の講演もすごくよかったです。実によく整理されていてわかりやすく、しかも面白かったです。麻生さんが、「ナチスを見習えばいいんだよ」と言ったとき、ぼくは実に衝撃を受けましたが、いま思うと、麻生さんは失言ではなく確信犯的な発言だと思います。国民を罵らしていこうという意図があるような。安倍たちの思想は愚衆の民主主義など不要だと言うことなのでしょう。石田先生の話の聞いていて、そんなことを感じました。「ヒトラーとナチス・ドイツ」を読むことにしました。

石田先生を呼んだ会長の挨拶に心打たれました。このような会を催された代田九条の会に感謝します。小巻さんとの出演交渉の間に入った湯沢さん、しつこくうるさくやられて大変だったとご同情致します。

(代沢九条の会・大塚 汎)

〈3日には東京・世田谷の9条の会で話をし、朗読をしました〉
わたたくしが主演した日ソ合作映画「モスクワが愛(74年)のプロデューサー大塚和(かの)さんの息子さん、脚本家の大塚汎(ひろし)さんを通して打診があり、ごあいさつと長谷川テルさん(注)の手紙の朗読をしました。テレビドラマ「望郷之星」(80年)で、長谷川テル役を演じたのが、テルの人生を学ぶ契機になりました。

長谷川テルは、戦火の中で、平和を訴えた、信念を持った女性です。9条の会の皆さまとともに、戦争と平和について、考えることができればと願っています。

長谷川テルさんのお嬢さんで、『二つの祖国の狭間に生きる』の著者、長谷川曉子さんは、大切な友人です。

昨年も舞台を見ていただき、京都のホテルで、長い時間、お話をしました。長谷川テルさんの信念は、長谷川曉子さんに引き継がれています。そのことにもふれて、お話ししました。(C) (C)

世田谷九条の会 秋の交流会報告

総選挙から一週間後の10月28日、世田谷九条の会が主催して、地域9条の会の交流会が開かれました。

総選挙では、憲法改定について自衛隊の明記と緊急事態への対応などを公約に掲げた自公など改憲勢力が2/3の議席を確保する結果となりました。このような中、3000万署名の重要性和9条を改憲させない運動をどう広げていくのかなどが集中的に話し合われました。以下に、署名への取り組みや経験についての報告を記します。
代沢九条の会：ニュースやミニパンフレットを発行し、「憲法への関心を高め、考えよう」との訴えを駅頭やポスティングで行っている。商店街のバザーで署名やシール投票なども行った。世代毎に異なる内容のパンフレットが必要である。

深沢九条の会：9月中旬より深沢区民センター、目黒駅頭などで署名の取り組みを始めた。11月より定期的に取り組む予定である。

桜丘九条の会：駅頭でのアピールに応じてくれる人が少なからずいる。若い人を活動に参加させるには、彼らの役割を明示することが大事である。

九条の会まつざわ：毎月13日に下高井戸駅頭で宣伝を行っている。学生は多いが、彼らは署名に殆ど感心を寄せない。地元のN大学の先生に九条の会での講演を依頼するとともに、学生と話し合う機会を作ってもらおうよう要請する。駅頭だけでなく、戸別訪問による署名にも取り組んでいる。

憲法九条を愛する烏山地域の会：9月より署名に取り組んでいる。9/19には7人が参加して29筆が集まる。女子大の学生は、4月頃には興味を示すが、時間とともに関心が薄れる傾向にある。集団より1人の時の方が署名に協力的である。

代田・九条の会：3000筆を目標に署名に取り組んでいる。これまでは個別的に進めてきた。11月より街頭での署名に取り組む予定である。

世田谷・九条の会：署名にも取り組むが、主として地域九条の会の署名の集約に当たる。

なお、署名の第1次集約は12月20日、第2次が2018年4月25日（5月3日公表）、第3次が5月末（6月上旬公表）。
（代田2丁目・坂本 功）

カトリック赤堤教会において、10月15日、女優・高田敏江さんの「平和について」というタイトルの講演がありました。高田さんはクリスチャンだそうで、「こうやって話すのは苦手」と言いながらもこっちは感心させられ引き込まれていきます。その教会の神父さんも一番後ろの席で聞き入っていました。

ご自身の前橋での戦争体験を話された。やはり戦争経験が大きな戦争準備の歯止めになるもんだなア、と思われた。先日の総選挙でも、10代・20代の保守支持が多かったことが頭に浮かんだ。

戦争経験以外で、その若い世代に訴える方法は何かな...

後半は、長年やられている「あの雲は忘れない」の朗読劇を一人進行して頂き、感激。

やはり、アメリカが悪い、日本が悪い、中国が悪いではなく戦争が悪い、で閉会。

拍手の止め処が困難でした。

梅丘1丁目・湯沢 勉



集会等の紹介

11月26日（日） 午後1時半～ 2時半

代田・九条の会 署名活動

下北沢・オオゼキ前

12月3日（日） 午後1時半～ 4時半

映画「憲法を武器として 恵庭事件 知られざる50年目の真実」

会場： 文京区民センター 3A会議室

参加費： 一般1000円

主催： タキオンジャパン

12月17日（日） 午後1時～

主催者はわたしたち市民集会

映画「ハトは泣いている」 講演：白井 聡さん

会場： 日比谷図書文化館 コンベンションホール

参加費： 一般1000円

主催： 「ハトは泣いている」の上映をすすめる会 ほか

お願い：ニュースの原稿—九条や平和に関する意見、集会への参加報告など—を募集しています。

400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。